母谷（もたに）たつのり後援会だより

平成14年（2002年）７月 Vol.9
発　行　母谷たつのり後援会
編　集　岡　田　　孝

市　政　報　告

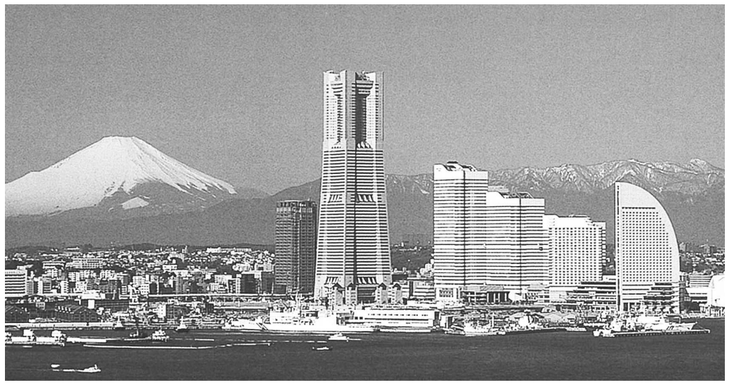
史上初めてのFIFAワールドカップ日韓共同開催は両国各地の会場において約１ケ月にわたり、熱戦を繰り広げました。多くの人々に勇気と感動を与えると同時に勝負の運、不運を目の当たりにし、その悲哀を感じさせられることにもなりました。しかしながら、一方で両国サポーターのすざましい応援風景やその熱気は両国民の潜在的パワーをひしひしと感じさせ、政治、経済を始め混沌とした現在の社会情勢でありながら、共に国力は十分に蓄積されていると確信いたしました。

近年の日本サッカーは「ドーハの悲劇」と呼ばれた1993年以来、着実に世界で戦える力を蓄積し、1998年には、ワールドカップに史上初めて出場し、１次リーグで敗退したとはいうものの初得点を挙げ、2002年の今年には２勝１分で堂々のグループ１位となり、決勝リーグ進出を果たしました。

惜しくもベスト８進出はなりませんでしたが、ホスト国として大いに大会を盛り上げ、その戦いぶりは今後に大きな期待を抱かせ、世界の舞台で活躍できる日本を予感させたと思います。

この大会において、私が一番印象的だったことは、世界的スポーツの祭典でサポーターと呼ばれる人たちをはじめ、多くの国民が「日本」というチームを必死になって応援したことであり、その関心の高かったことであります。当たり前といえば当たり前でありますが、日本で大会が開催されたことも大きな要素でありますが、経済大国といわれ、平和な生活にどっぷりと浸かってしまっている我国で、サッカーを通じて多くの国民が**「世界の中の日本」**、を否応なしに感じることになったのではないでしょうか。このことは自分自身の位置を認識する良いきっかけにもなったと思います。

それにしても韓国の躍進ぶりには大変驚かされました。ホスト国としてのメリットとプレッシャーを背中合わせに素晴らしい戦いぶりであったと思います。ベスト４進出という結果のみならず、選手一人ひとりの真剣なまなざしや最後まであきらめない驚異的なハングリー精神はテレビ画面を通じてもはっきりと感じとることができ、多くのサポーターや国民に対する真摯なその姿は敬意と感服に値すると思います。このような光景は、今日の日本が失いかけている大事なものをまざまざと見せつけられたような気持ちでいっぱいになりました。



みなとみらい21（横浜市）のランドマークタワーと富士山

共同開催国の韓国に大いなるエールを送るとともにワールドカップの残した大きな足跡がそれぞれの国民と両国にとって素晴らしい財産となり今後の発展に寄与することを心から願っています。

さて、広島市議会の平成14年第２回定例会は、６月14日召集告示がなされ、６月21日から13日間の日程で開催されました。その内容は議案15件、条例案７件、その他の議案７件、専決処分承認案１件、報告７件が上程され、１件を除き原案どおり可決されました。否決された１件は、皆さんも新聞報道等で御承知かと思いますが広島市助役選任の同意案件（猪爪範子氏）であります。

これは平成14年第１回定例会（３月議会）に引き続き否決されたものであり、前回の31対28から今回の35対24へと反対が増加する結果となりました。

秋葉市長は、引き続きこのような結果になったということを真剣に、そして重く受け止める必要があると思います。自らの失政によって招いた助役不在という異常事態の責任を他に転嫁することなく、市長として真摯にこの問題解決に取り組み、山積する市政の問題解決にあたらなければならないと思います。

当面する重要課題のひとつに貨物ヤード跡地の有効活用問題があります。

これは21世紀の広島にとって夢と希望と誇りの持てる一大プロジェクトであり、沈滞する広島の都市再生と今後の浮沈をかけた重要な都市政策であります。

用地取得から４年余りの年月が経過し、年間２億６千万円の金利支払いに対する国の交付税措置が今年度末までという財政的問題からも広島市としての意思決定を早期に示す必要がありましたが今春からずれ込んでいるというのは大変な損害であり問題であります。結果として７月10日、秋葉市長が記者発表した**「複合型オープン球場案」**は、助役不在という状況で時間に迫られたなか、カープ球団の提案を丸呑みした形になりました。

野球場建設については**「屋根架け」**の必要性や要望の多いことは経済４団体の要望申し入れや市民アンケートからも明白であります。

貨物ヤード跡地の活用は広島の新たな顔づくりであり、正式表明が112万市民の民意を反映した結果にならなかったことは誠に残念であります。

また、今秋には来年度の予算要求やその折衝が国との間で始まり、具体的な予算編成を行わなければなりませんが、この問題も助役不在という異常事態の中で行われる危険性を孕んでいることから７月26日に臨時議会が開会され助役の選任同意案を審議することになっています。これら行政の機能低下は、われわれにとっては即、市民サービスの低下を招く結果となり、不満こそあれ何等、得るものは無いと言わねばなりません。経済不況の中、皆さんの血税がどのように使われるのか、どのような市政の舵取りが行われるか上辺だけで判断することなくしっかりと観察していただきたいと思います。

今後、益々厳しい暑さに向かいます。皆様方におかれましては、どうか御身大切にされ、ご自愛の上、ご健勝でお過ごしになられますよう念じております。

広島市議会議員　　母　谷　龍　典

いい汗流そう！！　いい笑顔つくろう！！

広島市西部療育センター（仮称）整備計画概要

1　事業の目的

市内西部地域（佐伯区、西区）をエリアとして、心身に障害のある子どもの発達等に関する相談や診療・療育を行うため、西部療育センター（仮称）を整備し、増加傾向にある発達障害児への対応や、現在、児童療育指導センター（東区光町）を利用している西部地域からの利用者の身体的、精神的負担の解消など障害児療育の向上を図るものである。

2　施設の機能

外来診療、通園施設及び地域支援機能

機能	内　　容
外来診療部門	・診療科目（小児科、精神神経科、整形外科）　・療育、相談機能 ・訓練機能（理学療法、作業療法、言語聴覚療法）　・検査等
通園施設部門	・障害児通園施設（知的障害児及び肢体不自由児）　最大利用定員　70人
地域支援部門	・障害児（者）地域療育等支援事業の施設

3　整備場所

佐伯区海老山南二丁目

4　構造規模

・構造　鉄筋コンクリート造　２階建て

・敷地面積　約5,110m　　・延床面積　　3,476m

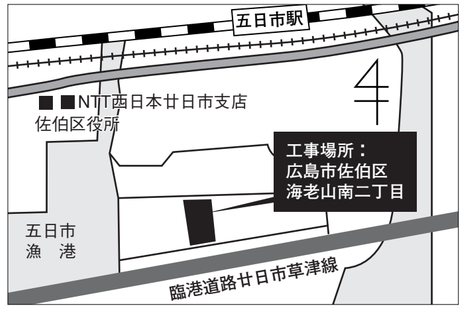
5　整備スケジュール

・平成12年度　基本設計

・平成13年度　実施設計

・平成14年度　用地取得、建設

・平成15年度　建設、初度備品、開所



英知村（エジソン）タウン五日市

あなたのアイデアの商品化をお手伝いします！

五日市商工会の工業部会では、アイデア商品の実現化を目指してホームページを開設いたしました。特許等の問題や費用についてもご相談することとしています。

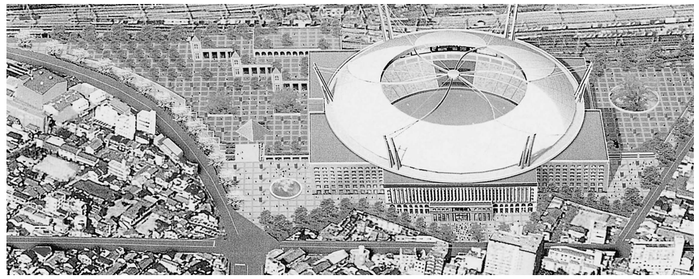
あなたのアイデアを何でも受け付けます。五日市から新商品が誕生し全国に広がることを期待しています。不況といわれるときだからこそ知恵を出してみませんか？

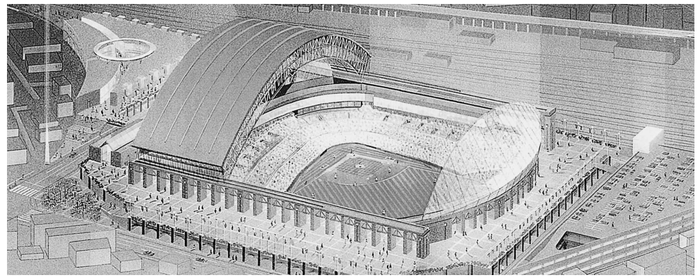
URL　http://www.itukaichi.or.jp/edison/

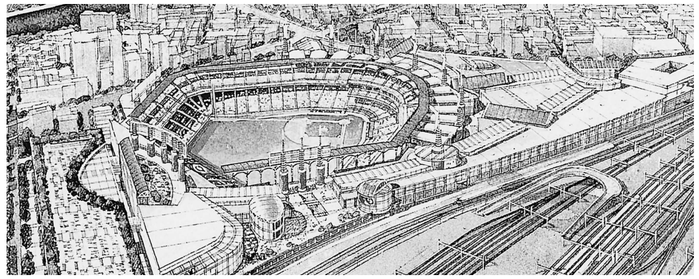
〒731-5128　広島市佐伯区五日市中央4-15-3　五日市商工会・工業部会
TEL : 082-923-4138　　E-mail : edison@itukaichi.or.jp

母谷たつのり連絡先　広島市佐伯区美鈴が丘西二丁目7番12号　E-mail　motani@cc22.ne.jp　☎928-9953　FAX 929-9002
市議会　☎504-2443　FAX 244-1419

貨物ヤード跡地活用方針（広島市）　複合型オープン球場に決定！！







民間各社の提案内容整理	五洋建設株式会社（ピースフラワー） 複合型開閉式ドーム施設案	三菱重工業株式会社中国支店（HDグループ） 開閉式ドーム施設案	WPI／SPG／MGS（TEAM ENITIUM） 複合型オープン施設案
提案構成企業若しくは企業グループ	・五洋建設株式会社中国支店 ・清水建設株式会社広島支店 ・株式会社　博報堂中国支社 ・中電技術コンサルタント株式会社	・三菱重工業株式会社中国支社 ・株式会社　日建設計大阪 ・株式会社　竹中工務店広島支店	・WPI／SPG／MGS（ワールド・プレミア・インベストメンツ／サイモン・プロパティ・グループ／エム・ジー・エス・ジャパン） ・株式会社　広島東洋カープ ・株式会社　電通 ・株式会社　電通西日本 ・鹿島建設株式会社
事業の考え方	・事業会社（広島ピースフラワー）は、土地を広島市から50年以上の契約期間とする定期借地権で一括して借りる。 ・定借分譲マンションを除き、他の用途は原則的に事業会社が建物を建設し所有する。このうち、スタジアムは事業会社が広島市へ賃貸し、広島市はスタジアム運営会社に転貸する。	・民間企業連合の出資による事業会社がドームを建設・運営する。	・提案参加企業が中心となって設立する事業会社が、広島市より土地を定期借地し、施設を建設する。商業部分について、事業会社は商業テナント等に賃貸する。球場部分について、事業会社は広島東洋カープに一括賃貸する。（広島東洋カープは球場を専有利用する。）
総事業費（初期投資額）の内訳	・スタジアム建設工事費（設計費等を含む）　25,000百万円 ・商業施設等建設工事（設計費等を含む）　8,732百万円 ・開業費用　2,000百万円 ・工事中金利等　675百万円 ・諸税　1,831百万円 計　38,238百万円 注１：マンション建設は別途、デベロッパーが行うので、マンション建設工事費13億円は含まない。 注２：スタジアム運営会社の事業費（初期投資額）は未定。	・建設工事費（設計費等を含む）　25,500百万円 ・開業費用　1,000百万円 ・工事中金利等　1,161百万円 計　27,661百万円 注１：施設完成後は、諸税免除、又は公共への施設譲渡。 注２：隣接のにぎわい施設の事業費は未定。	・野球場建設工事費　11,630百万円 ・商業施設等建設工事費　18,290百万円 ・設計費・外構工事費等　2,330百万円 ・開業費用　3,500百万円 ・工事中金利等　1,760百万円 ・諸税　1,270百万円 計　38,780百万円
事業会社の初期投資額に対する資金調達計画	・総事業費（初期投資額）　38,238百万円 ・資金調達計画 自己負担　3,000百万円 敷金・保証金（球場部分（広島市から））　900百万円 敷金・保証金（テナント部分）　1,377百万円 定借マンション初期収入　1,350百万円 （施設計画上の付加価格として、15百万円／戸×90戸の収入） 金融機関からの借入　31,611百万円 計　38,238百万円	・総事業費（初期投資額）　27,661百万円 ・資金調達計画 自己資金　3,000百万円 敷金・保証金（スイートルーム）　1,000百万円 公的支援要請額　5,000百万円 金融機関からの借入　18,661百万円 計　27,661百万円	・総事業費（初期投資額）　38,780百万円 ・資金調達計画 自己資金　7,760百万円 敷金・保証金（テナント部分）　1,240百万円 公的支援要請額　5,000百万円 金融基金からの借入　24,780百万円 計　38,780百万円
集客圏域と対象集客人口	・環瀬戸内海1,500万人集客圏 広島都市圏140万人、２時間圏都市（広島県、山口県、島根県、岡山県、香川県、愛媛県、福岡県）を含めると、1,500万人。	・プロ野球は中四国1,200万人、会議等は世界各国から、コンサートやドームネットワークイベント等は日本全国から、市民スポーツ・文化イベント等は中四国から集客	・施設全体の集客圏域は、エンターテイメントモールと広島東洋カープというコンテンツを合わせた魅力から、中四国、日本、近隣諸国（台湾、韓国など）。なお、一次商圏は、約20km圏（車・鉄道で約30分圏）の戦略商圏を核としながら、影響商圏は約50km圏（車・鉄道で80分圏、東は三原市、西は岩国市、北は三次市程度）までの商圏（商圏人口約163万人）としている。
集客数（球場施設の年間利用計画）	・プロ野球で約151万人（福岡ドームの実績から予測）、フィールド施設以外の施設の集客数は算出していない。 ・フィールド施設の年間利用計画 プロ野球72試合（カープ公式戦60試合、カープオープン戦６試合、パリーグ公式戦６試合）、イベント30日（マスターズリーグ等スポーツ系、展示会、見本市、コンサート、８月６日の新たなイベント等）、その他32日（高校・大学野球10日、社会人野球６日、カープ２軍戦６日、一般貸し出し10日）	・球場施設、150万人（プロ野球100万人、その他イベント50万人）、野球施設以外の商業施設の集客数は算出していない。 ・球場施設の年間利用計画 プロ野球62試合（カープ公式戦56試合、カープオープン戦６試合、ビッグイベント（コンサート）５日、社会人野球等アマチュアスポーツ10日、市民イベント10日、草野球30日	・球場施設と賑わい施設の全体で1,000万人以上 ・球場施設の年間利用計画 ・プロ野球65試合程度（カープ公式戦及びオープン戦）
導入施設及び球場施設の概要	・開閉式ドーム施設、物販・飲食・スポーツ系・アミューズメント施設、ホテル、マンション、駐車場 ・フィールド施設の概要 開業当初は天然芝（将来の人工芝技術の進歩により、天然芝から人工芝への転換を想定している。サッカーは人工芝でのプレーであり、対応可能な可動席を当初から整備）、観客席32,000席、空調設備あり	・開閉式ドーム施設、商業施設、駐車場 ・球場施設の概要 天然芝、観客席32,000席、空調設備あり	・オープン球場とキッズパーク等のボールパーク施設、商業施設、飲食施設、エンターテイメント施設、駐車場 ・球場施設の概要 天然芝、観客席32,000席